

## 平成29年度事業報告

自平成29年4月1日 至平成30年3月31日

昨年度は大国における自国優先の政策やほんの一部に権力が集中する国家体制の成立のなかで世界が動く、危うい国際社会情勢が顕著になってきた1年でありました。経済においてもアメリカと中国が互いに譲ることのない関税報復合戦が繰り返され、貿易戦争に発展する危惧を孕んでおります。これは世界の経済をリードする大国であるがゆえに両国間のみの問題ではなく、日本を含む多くの国々に多大な影響を及ぼしかねない深刻な問題として世界を震撼させています。一方、国内では政界、スポーツ界における不祥事で、国民への納得する説明が為されないまま1年以上も前の議事録が新たな事実として公表されています。組織ぐるみの文書改ざん、隠ぺい体質が明るみに出るたびに日本の将来に不安を抱く人も多くいるでしょう。今、私たちのできることは日本の自浄能力を信じて地道に目の前の課題を一つずつ解決する努力を続けていく他は道がないのかもしれない。

このように先行き不安定な世間動向が続く中でしたが、当協会は食品包装の発展に貢献すべく平成29年度は以下のような事業活動を実施して参りました。研究例会・技術セミナー、企業見学会および勉強会においては、食品包装及びその周辺技術に関する最新情報の提供や人材育成研修講座による食品包装技術者の育成に力を入れて参りました。また、当協会のメイン事業である食品シンポジウムでは「これからの食品包装の表示について考える」をテーマに、包装の重要な機能の一つである表示について現状の課題と今後のあり方を問題提起し、意見交換を行いました。また、協会の新しい事業として始めました「食品包装教育・検定システム」は食品包装をより知っていただくために、社会人もとより、生活者、学生を含めた幅広い範囲を対象としたものとして充実を図っております。また当協会以外の団体とのコラボレーションを目的とした、「食品品質保持技術研究会」や「日本能率協会」、「ポリオレフィン等衛生協議会」、「日本包装機械工業会」、「日刊工業新聞社」などと多方面での協力体制の構築を進めております。具体的には日本能率協会と昨年に引き続き、今年3月に開催されたフーデックスにおいて、当協会の会員企業による出展参加を行いました。この展示会は国内の食品企業はもとより、海外、特にアセアン諸国に向けた日本の食品包装技術のPRの場として期待できます。さらに情報の発信という面では、ホームページのさらなる充実と、「食品包装の科学」等、書籍の出版を積極的に進めて参りました。また、日本包装技術協会が出版する「新版包装技術便覧」の編纂にも全面的に協力しております。当協会では、各事業への精力的な取り組みとともに、協会の運営体制の強化も行っておりましたが、会員の増強では新規正会員8社の獲得、1社の退会があり、都合7社増となりました。引き続き本年度も魅力のある協会として活動内容を充実させ、新規会員獲得に努めていきたいと考えております。全体の活動経過を振り返りますと、平成29年度の総収支はお陰様で黒字となりました。法人化されて以来、組織のコンプライアンスを高め、会員の皆様に利益を還元できる組織にするべく努力を続けて参りましたが、今後もより一層会員の皆様の満足は勿論のこと、食品業界、社会全体に貢献できる魅力ある協会にしていきたいと考えておりますので、皆様方にはこれまで以上のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 平成 29 年度事業実施詳細

### 登録会員数移動状況

#### 会員

平成 29 年 4 月 1 日 82 社

平成 30 年 3 月 31 日 89 社 [新規入会 7 社]

#### 賛助会員

平成 29 年 4 月 1 日 6 社

平成 30 年 3 月 31 日 6 社 [退会 1 社、新規入会 1 社]

#### 個人会員

平成 30 年 3 月 31 日 13 名 [新規入会 2 名]

### 平成 29 年度実施した諸事業、集会の状況

総会 1 回

包装界合同新年会 1 回

#### 諸事業

会報“食包協”ホームページ発行 4 回

食品包装シンポジウム 1 回

食品包装人材育成研修(2 回・3 日間) 2 回 ([初級]、[中級])

食品包装技術セミナー(前期・後期) 2 回

研究例会 4 回

見学会 2 回

勉強会 2 回

#### 集会

理事会 2 回

常務理事会 2 回

運営委員会 6 回

広報企画委員会 (8 回)、シンポジウム・勉強会・見学会企画委員会 (7 回)、セミナー・研究例会企画委員会 (6 回)、人材育成・検定企画委員会 (4 回)、計 25 回

### 平成 29 年度通常総会及び記念講演

日 時：平成 29 年 4 月 28 日 (金) 10:00～12:00

場 所：(株)印刷会館会議室

通常総会 (10:00～11:00)、記念講演・石谷理事長 (11:00～12:00)

出席者：委任状含めて 69 名 (会員総数 82 社) 過半数で総会成立

議 事：小国副理事長が議長に選任され、議事録署名人に凸版印刷(株) 住吉大四郎氏、

味の素㈱ 水野公備氏が指名された。

第1号議案：平成28年度事業報告及び平成28年度収支報告

第2号議案：平成29年度事業計画（案）及び平成29年度収支予算（案）

第3号議案：定款変更 役員の増員について

第4号議案：会員の異動および役員・委員一部改選について

第5号議案：その他報告事項について

各議案とも満場一致で原案通り承認された。

記念講演：石谷孝佑理事長 「2035年の未来予測と食品包装」

## 食品包装シンポジウム（第51回）

日 時：平成29年10月17日（火）9:30～16:45

場 所：北区王子・北とびあ

参加者：有償参加 31名、招待 13名 計44名

テーマ：これからの食品包装の表示について考える ～新食品表示制度の最新情報～

基調講演：食品表示基準の現状と今後の展開について

食品表示検定協会理事長・宮城大学名誉教授 池戸 重信 氏

講演：消費者から見る食品表示について

（公社）全国消費生活相談員協会 食の研究会 代表 澤木 佐重子 氏

講演：表示内容増加に対応した情報搭載型包材

凸版印刷㈱ 生活産業事業本部 松本 博 氏

講演：「コンビニ電子タグ1000億枚宣言」の概要と波及効果について

みずほ情報総研㈱ 経営・ITコンサルティング部 紀伊智頭氏

講演：「海外の包装表示事情について」

日本食品包装協会 理事長 石谷 孝佑 氏

パネルディスカッション：コーディネーター・・・石谷理事長

## 食品包装人材育成講座

### [初級]

日 時：平成29年9月13日（水）・20日（水）・27日（水）の3日間

場 所：北区王子・北とびあ 参加者：会員32名、非会員2名 計34名

内 容：講師9名による食品包装関連初級講座

9月13日講義終了後、講師・聴講者との懇親会を実施した。

### [中級]

日 時：平成29年12月6日（水）・14日（木）、20日（水）の3日間

場 所：北区王子・北とびあ 参加者：会員21名、非会員3名 計24名

内 容：講師 9 名による食品包装関連中級講座

12 月 6 日講義終了後、講師・聴講者との懇親会を実施した。

## 食品包装技術セミナー（前期）

日 時：平成 29 年 6 月 15 日（木）13:20～16:45

場 所：北区王子・北とぴあ

参加者：有償参加 22 名、招待 11 名 計 33 名

テーマ【将来の技術】

◇技術講演 I：「機能性表示食品」制度について（現状と今後の動向）

一般財団法人 食品環境検査協会 業務部次長 花澤 耕太郎 氏

◇技術講演 II：「アイトラッキング（視線計測）」

トビー・テクノロジー(株) 代表取締役社長 蜂巢 健一 氏

◇技術講演 III：「みせる」、「はじく」、「伝える」、「変化する」

～機能性被膜による価値提案に向けて～

東洋インキ SC ホールディングス(株) グループリーダー 中村 香織 氏

上記セミナーでアンケート実施。

## 食品包装技術セミナー（後期）

日 時：平成 30 年 3 月 20 日（火）13:20～16:45

場 所：北区王子・北とぴあ

参加者：有償参加 17 名（内 認定証無料 1 名）、招待 11 名 計 29 名

テーマ【食品ロスに対応した容器包装技術の活用】

◇農水省 食料産業局 バイオマス循環資源課 食品リサイクル班 鈴木 健太 氏

◇『蛍光指紋とデータマイニングによる食品の品質評価』

農業・食品産業技術総合研究機構 食品総合研究所 蔦 瑞樹 氏

◇包装容器開発におけるシミュレーション活用事例紹介と最適化計算を採り入れた

新しいデザインプロセス』 アルテアエンジニアリング(株) 阿部 大生 氏

## 研究例会

### 4 月度研究例会

日 時：平成 29 年 4 月 26 日（水）13:25～16:45

場 所：北とぴあ

参加者：有償参加 32 名（内 認定証無料 2 名）、招待 12 名 計 44 名

◇製品紹介：I ガラスびんの市場動向 2017

日本山村硝子(株) マーケティング課 課長 高橋 啓市 氏

◇製品紹介：II 東洋紡のフィルム事業の環境対応戦略

- 東洋紡(株) 執行役員 総括部長 森重 地加男 氏
- ◇技術講演：Ⅰ Mylar® シーラントフィルムのご紹介  
デュポン(株) フィルム事業部 部長 半田 昌史 氏
- ◇技術講演：Ⅱ 保存性延長包装のトレンド  
東京食品機械(株) 代表取締役社長 秦 哲志 氏

## 7 月度研究例会

日 時：平成 29 年 7 月 26 日（水）13:25～16:45

場 所：北とぴあ

参加者：有償参加 39 名（内 非会員 6 名）、招待 18 名 計 57 名

- ◇製品紹介Ⅰ：精肉向け真空スキンパック  
三井・デュポン ポリケミカル(株) マーケティング部 服部 秀隆 氏
- ◇製品紹介Ⅱ：遮光性包材の開発  
(株)J-オイルミルズ 資材部 山下 紗貴子 氏
- ◇技術講演Ⅰ：容器包装の規制に関する状況  
ポリオレフィン等衛生協議会 専務理事 重倉 光彦 氏
- ◇技術講演Ⅱ：ケミカルリサイクルによる PET ボトルの循環利用システム  
東洋製罐(株) テクニカル本部 基盤技術部 吉川 雅之 氏
- 上記例会でアンケート実施.

## 11 月度 研究例会

日 時：平成 29 年 11 月 22 日（水）13:25～16:45

場 所：北とぴあ

参加者：有償参加 29 名（内 認定証無料 4 名）、招待 11 名 計 40 名

- ◇製品紹介Ⅰ：「キシリトールブランド 20 周年の挑戦（チャレンジ）」  
(株)ロッテ マーケティング統括部マネージャー福田 貴司 氏
- ◇製品紹介Ⅱ：「金属調加飾フィルムによるデザイン性アップとコストダウン実現事例のご紹介」(株)ウェーブブロック・アドバンステクノロジー 松田 智 氏、畠中 道明 氏
- ◇技術講演Ⅰ：DNP の機能性包材について  
大日本印刷(株) 包装事業部 部長 伊藤 克伸 氏
- ◇技術講演Ⅱ：トッパンにおける液体紙容器の進化について  
凸版印刷(株) 生活・産業事業本部 部長 吉永 雅信 氏

## 1 月度研究例会

日 時：平成 30 年 1 月 26 日（金）13:25～16:45

場 所：北とぴあ

- 参加者：有償参加 33 名（認定証無料 3 名、非会員 3 名）、招待 11 名計 44 名
- ◇製品紹介Ⅰ：「エコリーン・アセプティックシステムと世界各国の導入事例」  
エコリーン日本駐在事務所 箕浦 智昭 氏
- ◇製品紹介Ⅱ：「可変情報印字に赤外線レーザーを用いたインライン・デジタル・プリンティング（IDP）」  
㈱サトー IDPソリューションカンパニー 柴田 剛 氏
- ◇技術講演Ⅰ：「水性フレキシ印刷が軟包装市場に参入してきた背景と強みについて」  
日本フレキシ技術協会 顧問 塚田 昌 氏
- ◇技術講演Ⅱ：「コンビニのもつ優位性と包装資材の関係について」  
㈱精工 取締役 経営企画本部長 大枝 麻由 氏

## 勉強会

☆第一回 日時：平成 29 年 8 月 25 日（金）15:00～17:30

場所：(株)精工 会議室

参加者：21 名

講演：トレンドから考える容器開発～ワインを事例に～

アサヒグループホールディングス㈱ 島田道雄 氏

会終了後 全員参加による懇親会開催。

☆第二回 日時：平成 30 年 3 月 12 日（月）15:00～17:30

場所：凸版印刷㈱本社ビル 1 F 会議室

参加者：25 名

講演：『紙でできることは紙で』～環境に優しいバリア素材「シールドプラス」について～

日本製紙㈱ パッケージング・コミュニケーションセンター 内村元一 氏

会終了後 全員参加による懇親会開催。

## 見学会

### 第一回

日 時：平成 29 年 5 月 25 日（水）8:20～18:00

場 所：①アサヒビール㈱茨城工場

②雪印メグミルク㈱阿見工場・阿見総合物流センター

参加者：38 名

### 第二回

日 時：平成 29 年 10 月 25 日（水）8:20～16:30

場 所：①花王㈱川崎工場 ②日清オイリオ㈱横浜磯子事業場

参加者：42 名

## 食品包装検定・初級

### 第三回

日時：平成 29 年 7 月 19 日（金） 午前 10:30～12:00

午後 13:30～15:00

場所：(株) 精工 会議室

参加者：20 名 合格者：18 名（合格率 90%）

受験者全員に会員企業様（味の素 AGF(株)、(株)ロツテ、ハウス食品グループ本社(株)、(株)クレハ、森永製菓(株)、キッコーマン食品(株) 計 6 社）より寄贈の商品をお土産（パッケージサンプル）として配布。

### 第四回

日時：平成 30 年 2 月 16 日（金） 13:30～14:30

場所：(一社) 日本包装機械工業会 包装機械会館 3F（茅場町）

参加者：19 名（内 非会員 4 名） 合格者：15 名（合格率 78.9%）

受験者全員に会員各社（味の素 AGF(株)、(株)ロツテ、ハウス食品グループ本社(株)、(株)クレハ、森永製菓(株)、キッコーマン食品(株)、雪印メグミルク(株)計 7 社）より寄贈の商品をお土産（パッケージサンプル）として配布。

## FOODEX JAPAN 2018 出展

日 時：平成 30 年 3 月 6～9 日（於 幕張メッセ）

出展協力企業：①東洋製罐グループホールディングス(株)

②ハウス食品グループ本社(株)

③藤森工業(株)、藤森産業(株)

以上